

岩手大学農学部附属

# 寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

**Field Science Center**  
Faculty of Agriculture Iwate University



**FSC**

## 地域とともに新たなフィールドサイエンスを創造する

寒冷フィールドサイエンス教育研究センターは、農学部附属農場と附属演習林を統合して平成14年4月に発足した、農学部附属施設です。

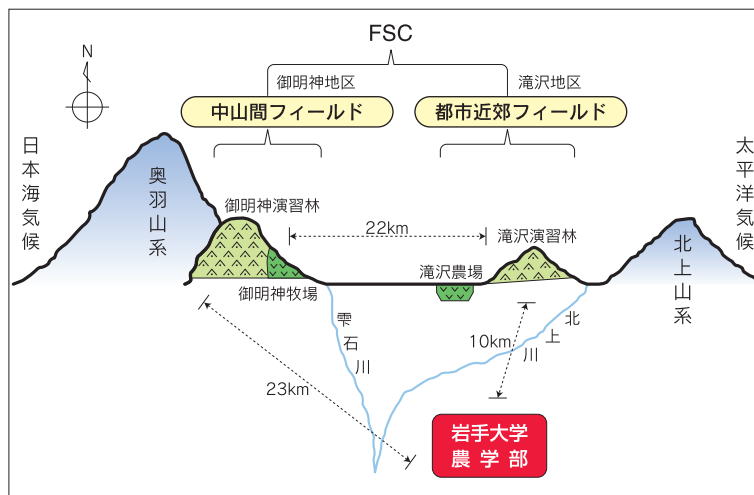
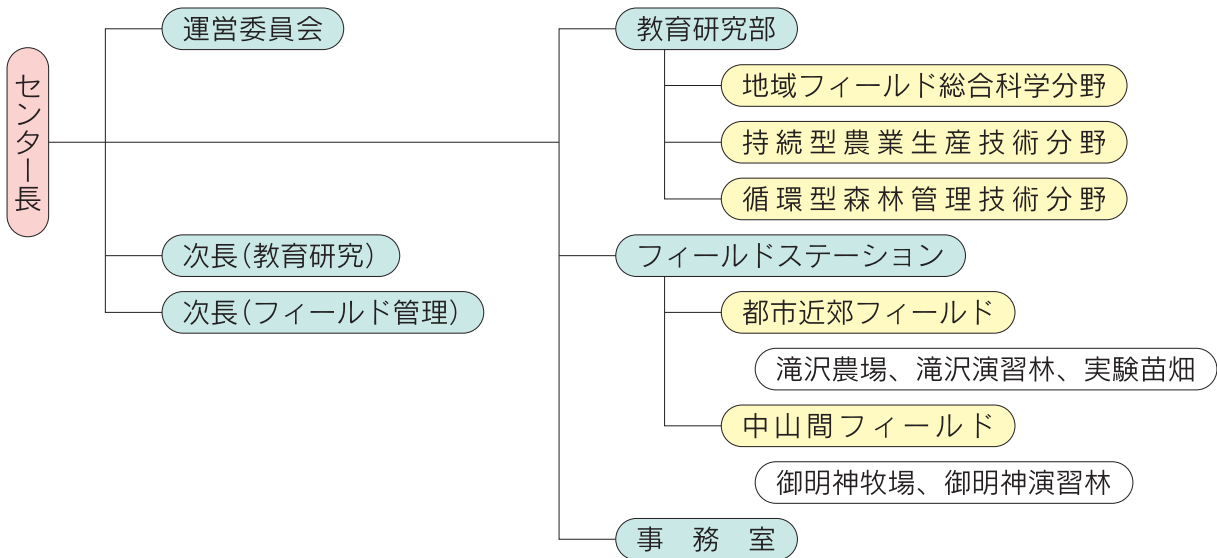


### 設置目的

本センターは、フィールドサイエンスの寒冷地における総合的、実践的な教育研究及び地域貢献を行うことを目的として設立されました。このため、百年にわたって整備してきた寒冷地における森林から耕地に至る特色のあるフィールドを活用して、新たな農学観に立脚する高度専門技術者の養成を行い、応用的・実践的研究や公開講座等のエクステンション活動を通じて、地域への研究成果の還元・公開を図ることとしています。



### センター組織



# 教育研究



## 地域フィールド総合科学分野

本分野は、総合科学としての寒冷地におけるフィールドサイエンスの構築を目指すための教育研究の企画立案、地域社会との交流や地域対応型共同研究のセンター的機能を担います。

公開講座やセミナー等を通じてフィールドサイエンス関連の研究成果の情報発信を行います。また、児童・生徒への野外教育や地域住民の生涯学習に積極的な貢献を目指します。

### ● 主な教育研究 ●

- (1) 総合的なフィールドサイエンスに関する教育研究
- (2) 農林地域資源のマネジメントに関する教育研究
- (3) フィールド環境教育に関する教育研究



## 持続型農業生産技術分野

本分野は、社会的背景が異なる都市近郊の滝沢農場と中山間地の御明神牧場を背景に、総合的で実践的実習を通じて、高度な専門的知識を身につけた問題解決能力の高い人材を養成します。

21世紀は食料危機が懸念されています。我が国を代表する食料基地である北東北の寒冷地における農業生産技術に関する教育研究を百年にわたり追求してきました。この伝統を継承し発展させ、地域特性に根ざした持続型農業生産技術の構築を地域と一体になって目指します。

### ● 主な教育研究 ●

- (1) 都市近郊型の複合農業生産技術に関する教育研究
- (2) 環境に調和した農業生産技術に関する教育研究
- (3) 中山間地における畜産技術に関する教育研究



## 循環型森林管理技術分野

本分野は、植物相、地形、社会条件が異なる御明神演習林、滝沢演習林を背景に、総合的で実践的実習を通じて、高度な専門的知識を身につけた問題解決能力の高い人材を養成します。

森林は二酸化炭素の貯蔵庫で地球温暖化防止に大きな役割を担っています。また、酸素の供給、緑のダム、野生動物の生息地であるとともに、木材・木質バイオマスの供給フィールドでもあります。21世紀における寒冷地での循環型森林管理技術の構築を地域と一体になって目指します。

### ● 主な教育研究 ●

- (1) 森林圏の管理・利用技術の高度化に関する教育研究
- (2) 森林圏の生物多様性等に関する教育研究
- (3) 森林・林業技術の普及啓発、森林環境教育に関する教育研究



# フィールドステーション

## 都市近郊フィールド

岩手大学農学部から北約10kmの盛岡市近郊に位置するフィールドは、都市近郊農林業の教育研究とエクステンションに優れた条件を有している。

### 滝沢農場

作物および園芸の二部門を基幹とする農場である。地域的には都市近郊型平坦地に属し、北東北農業の諸条件を具備し、活かしたフィールド（水田、畑、果樹、野菜）を利用した実践的教育研究が行われている。農学部の学生のみならず、近隣の大学や支援学校等の実習も実施され、学内の教員、学生・大学院生、専攻生等の圃場試験地としても広く活用されている。1967年の開田以来、同一の施肥体系により管理されてきた肥料三要素試験水田が整備され、また、多くの品種を保有するブルーベリー園は、国内有数の見本園として知られている。宿泊施設も整備され、宿泊を伴う実習では集中的に、より高度な実習教育を展開している。



### 滝沢演習林

東北地方北部の表日本型の気候帯に属し、丘陵地形の滝沢演習林（面積281ha）の植物相は、太平洋側の要素を含み、古くから人為が及んだために、原始的な森林は見られずアカマツ、コナラ、クリが優先する二次林が広がっている。樹齢160年に及ぶアカマツの美林は“南部アカマツ”を代表する。170年を超えるスギ人工林は岩手県随一の偉容を誇り、外国樹種や広葉樹の見本林も注目されている。複層林や列状間伐等の森林施業が展開され、活発な森林環境教育活動を実践している。

## 中山間フィールド

岩手大学農学部から西約23kmの雫石町に位置するフィールドは、広大な面積と優れた自然条件下にあり、中山間地における農林業や自然生態系に関する教育研究に優れた条件を有している。

### 御明神牧場

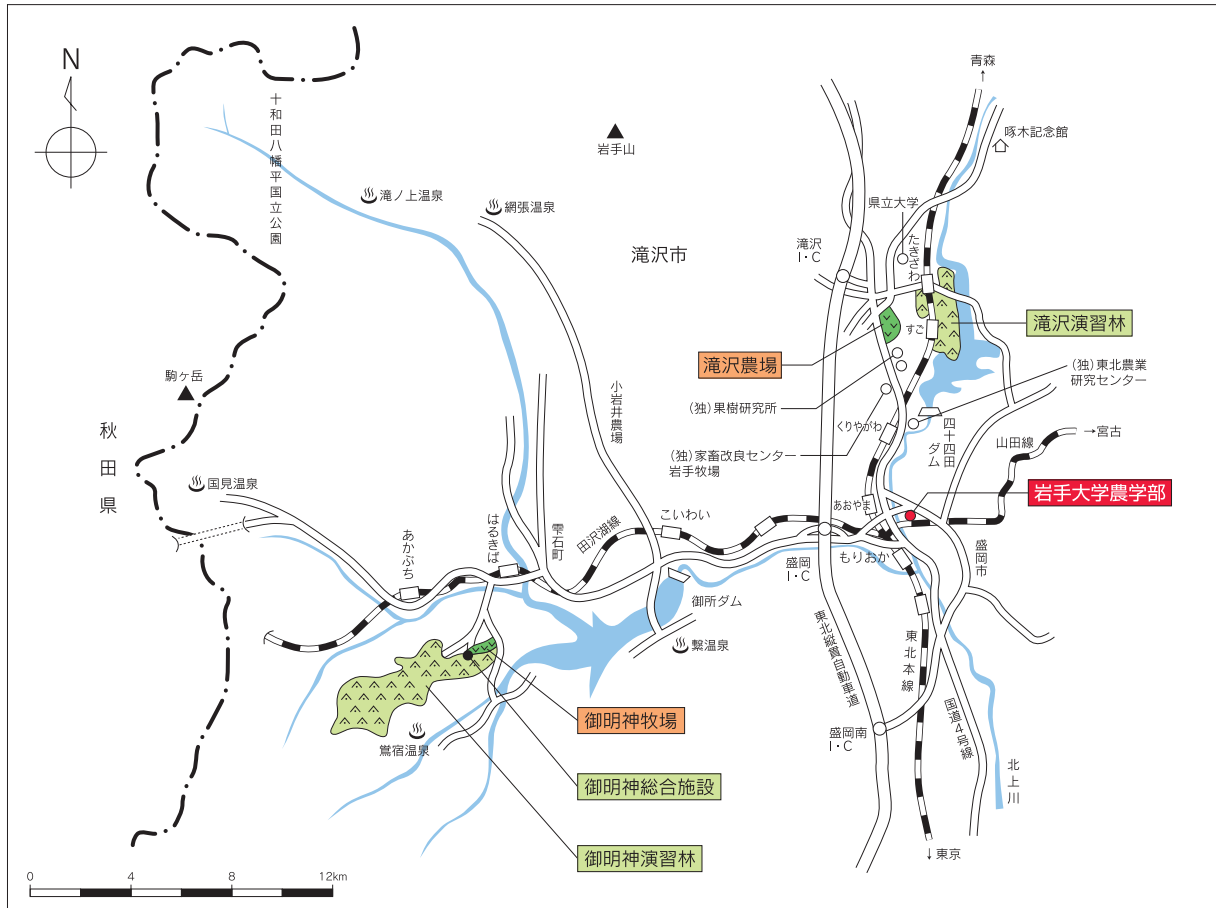
35ha余りの広い草地を活かして、放牧、パドック飼養など粗放的管理下で主に肉用牛を80頭程度飼養し、繁殖など家畜の生産機能制御に係わる教育研究を展開している牧場である。主に動物・獣医系の教員の研究、学生実習に利用されている。また、畜産農家、民間企業や公設研究所との共同研究により、雌牛の繁殖障害防除や生体内卵子回収・体外受精・発生など新規技術の応用研究が活発に成されている。さらに、子牛の健全な発育に関する研究、飼育環境や飼料に係わる研究、牛白血病の予防など多岐にわたる研究と学生実習のフィールドとして活用されている。



### 御明神演習林

東北地方北部の日本海側の気候帯に属し、急峻な山岳地形を含む御明神演習林（面積1,040ha）の植物相は、日本海型の要素が多く見られる。雫石川支流の赤沢川の上流部はヒバ、ブナ、ミズナラ、スギ等の針広混交林で自然度の高い貴重な天然林が残されている。設置直後から人工林の造成が行われ、植栽樹種の過半はスギが占め、アカマツ、カラマツが次いでいる。高密度路網と高性能林業機械化による山岳林における持続的森林経営モデル構築に取り組みなど、森林・林業技術の開発・普及を実践している。

# 配置図



## 沿革

- 明治35年 盛岡高等農林学校創立
- 明治35年 実験農場、林学苗圃設置（校内）
- 明治38年 御明神演習林設置
- 明治39年 経済農場設置（御明神）
- 大正2年 滝沢演習林設置
- 昭和24年 岩手大学農学部附属農場、附属演習林と改称
- 昭和41年 実験農場を滝沢農場に移転
- 平成14年 附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター設置

## 岩手大学農学部附属 寒冷フィールドサイエンス教育研究センター

〒020-8550 岩手県盛岡市上田3丁目18-8  
 TEL: 019(621)6234 FAX: 019(621)6107

### 都市近郊フィールドステーション

滝沢農場 〒020-0611 岩手県滝沢市菓子1552  
 TEL: 019(688)4021 FAX: 019(688)7032  
 滝沢演習林 〒020-0623 岩手県滝沢市榎の木沢80  
 TEL: 019(688)4101 FAX: 019(688)6225

### 中山間フィールドステーション（御明神牧場、御明神演習林）

〒020-0581 岩手県岩手郡雫石町御明神大石野  
 TEL: 019(692)3541 FAX: 019(691)1016(演)  
 TEL: 019(692)3031(牧)